

令和 7 年 4 月 13 日

## 指定管理者による自己評価（セルフモニタリング評価）調書

（報告先）上田市長 様

施設の名称 上田市真田温泉健康ランド

ふれあいさなだ館

団 体 名 （一財）上田市地域振興事業団

担当者名 支配人 横澤 宏

### 1 令和 6 年度(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日まで)

#### （1）利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

（営繕） 今期の整備計画は、令和 7 年 1 月 20 日から 2 月 16 日まで「プール臨時休業」としまして、プール内のライン塗装をおこない、「ラインがハッキリ見えて泳ぎやすい」と多くのお言葉を頂きました。

なお、令和 5 年 11 月にプール熱風炉の入替え工事を実施しましたが、その後の調査で、再度釜に穴が開いており、緊急を要する事から「プール臨時休業中」に無償にて入替え工事を実施しました。

（利用状況） 令和 6 年度の入館者は、1,805,757 人となり、前年度に比べ 2,691 人の増となりました。また令和 7 年 4 月 1 日から、入館料金改定による駆け込み需要としまして、利用料金収入は 61,997 千円となり、内訳は「会員券 23,101 千円・回数券 12,295 千円・1 日券 26,601 千円」となりました。なお、入館者数のうち、会員券利用者が 44%を占めました。

（集客） 今年度は、営業活動を増やしたところ、夏季は根子岳・四阿山登山者、冬季は菅平スキー場の積雪が多かったことから、週末は家族連れその他、クラブチームの利用が増えました。イベントは、8 月 4 日に信州上田おもてなし武将隊による、演舞とトークショーで会場は満席となり、魅力的な情報提供と戦国武将の認知度向上に、とても効果的でありました。1 月 2 日には、「信州うえだ六文銭太鼓」の皆さんによる出陣式をおこない、正月ならではのパフォーマンスは、大迫力でした。自主事業のスイミングスクールは、155 名の会員及びトレーニングジムは 39 名の会員様により、収入は 4,970 千円となりました。

（食堂） 4 月より、宴会料理の個人盛りを一部廃止にして、大皿料理へ変更をおこない、定食類は、味付けを一手間加え、盛り付けはボリュームに拘って参りました。季節に応じた料理を団体様向けに提供したことにより、作業対応がスムーズとなりました。イベント収穫祭で販売をした、松茸おにぎりは販売前から列ができており、即完売となりました。宴会は 61 件のご利用があり、前年比プラス 15 件となり、徐々に回復をして参りました。なお、食堂全体の収入は 3 月末実績で前年比 3,025 千円増となりました。

(売店) 今年度の野菜・果物販売は、品不足もなく比較的安定した価格で、販売をすることができました。特に波田町産の、はぶきスイカを大量に仕入れて、通常価格の半値で販売をしたため、即日完売となりました。なお米販売は品薄状態が続き、地元農家さんの備蓄米を譲って頂きましたが、2月頃より販売中止となりました。また売店商品全体の仕入れ価格が上昇し、特に乳製品の値上げが激しいことから、収入への影響が懸念されましたが、3月末実績では前年比 2,125 千円増となりました。

## (2) 経費節減に対する取り組み

駐車場全カ所及びプール室内の一部分へ LED 電球へ交換をおこない、節電対策をおこないました。

## (3) その他

源泉地からさなだ館までの引湯管及びポンプ調整と湯量調整は職員が実施しており、衛生管理による湯量調整と塩素管理についても職員が操作をしているため、早期の修繕対応が可能です。

## 2 指定管理業務実施上の課題

・開館より 32 年が経過致し、施設の老朽化が目立ち、設備等の故障が増加しております。臨時休館にならぬよう、メンテナンスの徹底を図っておりますが、機械の不具合が増加しているため、衛生管理に支障が発生しております。また駐車場は除雪の影響により、路面の損傷が激しく、白線塗装の塗り直しは定期的の実施しておりますが、下地が損傷しておりますので全面補修及び大規模改修が必要であると考えます。

## 3 今後の取り組み

利用者増に向けては、上田市と連携をして共同イベントをおこない、新規顧客とリピーターの確保に努め、効率よく食堂及び売店収入に繋げたい。入館料収入増に向けては、旅行会社等へ DM を送り、菅平登山やスキー後の利用に、ピーアールしたいと思います。

#### 4 その他

##### (1) 利用者からの主な意見、苦情及び対応等

別紙参照

##### (2) 市からの改善指示に対する対応（※ 市から改善指示等があった場合のみ）